

# アカトンボ調査

## 1 概要

アカトンボの仲間には、成熟（大人になる）すると赤色や橙色になる種類が多く、和歌山県で今までに16種類が記録されています。そしてそのほとんどが、ため池や水泳プールなどで発生している種類です。彼らが成熟し、産卵を行う秋の季節に学校周辺でアカトンボを採集し、種類の調査を行います。

## 2 ねらい

- ・ 身のまわりに住むアカトンボを調査し、どれだけのアカトンボが生息しているかを明らかにしてみよう。
- ・ 身のまわりの水環境の違いによって、アカトンボの種類にどのような変化が現れるか学習してみよう。

## 3 調査の手順

- (1) 調査日の設定：9月の20日前後から11月の初旬にかけて3度ほど設定します。
- (2) 調査の実施：学校周辺をまわってアカトンボを採集し、教室に持ち帰って種類を同定し、記録します。  
同定：生物の分類上の所属を決定すること
- (3) アカトンボの幼虫（ヤゴ）の住処として一般的な水田と水泳プールについて、下記のことを調査し、記録します。  
（水田）  いつ稲刈りをするのか？  
（水泳プール） プールで水泳を行う時期は？
- (4) 記録されたアカトンボの種類と、ヤゴが住む水域の性質を比較し、下記のデータをもとに、なぜその種類のアカトンボがいる（いない）かについて考察します。

## 4 アカトンボ産卵データ（海南市孟子不動谷2002年モニタリング調査データ引用）

- ・ 水田のアカトンボ……………アキアカネ、ノシメトンボ
- ・ 水泳プールのアカトンボ……………タイリクアカネ、コノシメトンボ

	アキアカネ	ノシメトンボ	コノシメトンボ
主な産卵場所	水田	水田	水泳用プール
産卵の方法	打泥産卵（水田の泥の中に卵を産みこむ） 産卵時には稲が刈り取られ、地面に湿気がないといけない。	打空産卵（空中から地面に卵をパラパラ撒き散らす） 産卵時にはイネが刈り取られずに残っていないといけない。	打水産卵（水泳用プールの水中に卵を産みこむ） 産卵時には水泳の授業が終了し、翌年の羽化時期後にプール開きがされる。
成熟成虫が見られ始める時期	9月23日	9月20日	9月27日
産卵がよく見られる時期	10月7日～10月28日	10月5日～10月8日	10月7日～10月13日
成虫終認時期	11月24日	10月13日	10月28日